

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	こども部
部(局)長名	橋本 敏子

【達成度について】
 A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 2	地域の子育て支援の一層の充実
--------	----------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向	安心して子育てができるよう子ども・子育て支援事業計画に基づいて、子育て支援サービスを充実します。
---------	--

活動目標
保育施設等の検索や子育てに関する情報が、いつでもスマートフォン等から手軽に入手できるよう情報提供を充実します。
3か所目の病児・病後児保育室を山田・千里丘地域に開室します。
公立幼稚園8園で水曜日及び長期休業中の一時預かり事業（幼稚園型）を実施します。
のびのび子育てプラザでの一時預かり事業の利用定員を拡充します。一時預かり事業を実施する小規模保育施設に対して助成金を交付します。
私立保育所の地域子育て支援センターを1園増やします。

具体的な取組実績
平成27年10月下旬に、市ホームページ内にある行政サービスガイド「すくすく」に利用者の条件に合った保育施設等を検索できるシステムを導入し、施設の設備や位置情報をまとめたページを追加しました。
平成27年12月1日から病児・病後児保育室エキスポキッズが開室しました。
平成27年9月から公立幼稚園8園の一時預かり事業を水曜日及び長期休業中も実施するよう拡充しました。
平成27年5月からのびのび子育てプラザでの一時預かり事業の定員を6人から10人に拡充しました。
私立保育所の地域子育て支援センターを1園増やしました。

達成目標
子ども・子育て支援情報を充実することにより、利用者の利便性の向上を図ります。
供給が最も不足している地域に病児・病後児保育室を整備することで、利用児童数を増やします。
公立の一時預かり保育の実施日を拡充することにより、年間を通じて長時間保育ニーズに対し、さらなる充実を図ります。
一時預かり事業の実施施設や利用定員を拡充することで利用児童総数を増やします。
育児教室や子育て相談などの子育て支援の充実を図り、地域全体で子育てを支援し合う基盤形成を推進します。

達成状況	達成度
行政サービスガイド「すくすく」の閲覧回数は、4月から10月までは月平均9,147件でしたが、施設検索システム等を追加した11月以降は、月平均16,134件に増加しました。	A 達成
平成27年12月から3か所目の病児・病後児保育室を開室したことで、延べ利用児童数は2,408人となり、前年度に比べて多くの利用がありました。	A 達成
平成27年9月から、公立幼稚園のうち8園の一時預かり事業を、水曜日及び長期休業中も実施したことで、さらなる充実を図りました。	A 達成
定員を拡充したのびのび子育てプラザでの一時預かり利用児童総数は2,418人となり、昨年度より918人増加しました。小規模保育施設による一時預かり事業は、事業者から開設の相談はありましたが、実施には至りませんでした。	B 一部達成
私立保育所の地域子育て支援センターが1園増え17園となったことで、地域全体で子育てを支援し合う基盤形成が推進されました。	A 達成

総合評価・総括
施設検索システム等を追加した平成27年10月以降、行政サービスガイド「すくすく」の閲覧回数を飛躍的に伸ばすことができ、市民から求められている情報を提供することができました。 就労と子育ての両立支援策として、病児・病後児保育室を増やすほか、公立幼稚園の一時預かり事業を実施するなど、地域の子育て支援の充実と働きながらも子どもを産み育て易い環境整備に努めました。 のびのび子育てプラザにおける一時預かり事業の利用定員を増やすことで、育児疲れ等のある保護者の心理的・肉体的負担の軽減を図ることができました。